医療だより

Ⅱ市民医療センター

戸田市美女木 4-20-1

3 421-4114 FAX 421-4218

国際興業バス 西川ロー北戸田線

- ●「市民医療センター」下車 tocoバス(美笹循環)
- 「市民医療センター」下車



診療科目

● 内科、小児科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、整形外科、耳鼻咽喉科診療科目によっては、診療日が決まっている場合があります

受付時間

- 月曜日 午前8時30分~11時30分、午後2時~5時
- 火~金曜日 午前8時30分~11時30分、午後1時30分~5時
- 土曜日 午前8時30分~11時30分、午後1時30分~4時
- 予防接種:月·水·金曜日(要予約)

休日・平日夜間の診療機関(急患)

かかりつけ医を持ち、早めの受診を心掛けましょう

※休日・平日夜間の診療機関は、診療時間内に受付を済ませてください

新型コロナのPCR検査は行っていません。

【内科・小児科】※詳しくは蕨戸田市医師会ホームページをご覧ください

戸田休日・平日夜間急患診療所

●蕨戸田市医師会館となり ◎445-1130 休日診療日 7/3、10、17、18、24、31 休日診療時間 午前9時~正午、午後1時~5時 平日夜間診療月 7月(奇数月)

毎週月~金曜日の平日夜間診療時間 午後7時30分~10時30分 ※休日を除く

蕨休日・平日夜間急患診療所

●蕨市福祉・児童センター内 ☎431-2611

休日診療日 8/7、11、14

休日診療時間 午前9時~正午、午後1時~5時

平日夜間診療月 8月(偶数月)

毎週月~金曜日の平日夜間診療時間

午後7時30分~10時30分 ※休日を除く

【小児科】※平日夜間診療時間のあと

毎週月〜金曜日の平日夜間診療時間 午後10時30分〜翌朝7時 ※受診する場合は、必ず事前に各医療機関に電話でお問い合わせください 月・水・木・金曜日 ●戸田中央総合病院(戸田市本町1-19-3 @442-1111)

火曜日 ●済生会川口総合病院(川口市西川口5-11-5 @253-1551)





Ⅱ救急電話相談

#7119 (ダイヤル回線、IP電話、PHS、新県境の地域でご利用の場合)

24 時間相談対応 年中無休

年齢を問わず、急な病気 (発熱、下痢、嘔吐など) やけがの、家庭での対処方法や医療機関の受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。 判断に迷ったときは気軽にご連絡ください。

※ AI 救急相談も行っています。右の QR コードから、スマートフォンやパソコンでご利用ください。この電話相談および AI 救急相談は助言を行うもので、診断や治療を行うものではありません



問い合わせ 県医療整備課 @048-830-3559

県精神科救急情報センター 🚳 048-723-8699 (ハローキューキュー)

夜間・休日に、精神疾患を持つ方や、その家族などからの緊急的な精神科 医療相談を、電話で受け付けています(県在住者が対象)。

※非通知設定の電話はつながりません

受付時間 月~金曜日:午後5時~翌朝8時30分、

土:日曜日、祝日:午前8時30分~翌朝8時30分

問い合わせ 県立精神保健福祉センター ®048-723-3333

【<mark>産婦人科】休日診療時間</mark>午前9時~正午、午後1時 ~5時

※当番医は変更になる場合もあります。受診前に必ず電話でお問い合わせください。受診は急患のみです

7月3日(日)	白石はなももレディースクリニック ②434-4809 戸田市新曽2200-2ロイヤルメドゥ北戸田2F
7月10日(日)	蕨市立病院 @432-2277 蕨市北町2-12-18
7月17日(日)	蕨市立病院 ⊕432-2277 蕨市北町2-12-18
7月18日(祝·月)	戸田中央産院 ⊚444-1181 戸田市上戸田2-26-3
7月24日(日)	蕨市立病院 @432-2277 蕨市北町2-12-18
7月31日(日)	西村レディースクリニック ⊚447-5311 戸田市本町3-15-21
8月7日(日)	戸田中央産院 ◎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
8月11日(祝·木)	岩沢レディースクリニック @445-4103 戸田市本町4-17-28 WINビル301号
8月14日(日)	桜公園クリニック @446-3950 戸田市新曽南3-12-18

コラム

*新しい生活様式" における熱中症予防

新型コロナ流行下での、3度目の夏になりました。日本の夏は高温多湿であり、マスク着用は熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。このため、"新しい生活様式"において、体調に応じて、屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合には、マスクを外すことが推奨されています。

熱中症のおよそ半数は65歳以上の高齢者で、熱中症による死亡者の約8割は高齢者です。若い頃に比べ、暑さに強くなるわけではなく、暑いという感覚が鈍くなり、体温の調整機能も落ちてきますので、注意が必要です。屋外では日傘や帽子を使用し、室内ではエアコンや扇風機を使用して暑さを避けましょう。熱中症の約40%は室内で発生しています。体感だけでなく、室温計を確認し、のどが渇いていなくても、水分補給を行うよう心掛けてください。